

27年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 英語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<p>〈活用する力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を活用・応用する力をさらにつける必要がある。 <p>〈語彙力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を高め定着させる指導がさらに必要である。 <p>〈表現力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から取り組んでいる英語活動の内容をさらに発展させ、自分の言葉で発表する場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用した演習問題や読解、スピーチ等の学習活動を取り入れる。 ・単語の小テストなどを継続的、計画的に行う。 ・少人数の特徴を生かしALTとの協力も含め、表現する機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習をして補充的な指導をしてから行う。個人の能力に応じて高めることのできる活動にする。 ・ユニット毎に単語のまとめテストなどを行なう。夏休み明けに、単語テストを行う。 ・個人目標に応じての自由英作文やスキット作りなどを通して英語に親しむ機会をさらに設ける。
2 年	<p>〈基礎・基本的なことについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の文型について、復習、応用する機会がやや少ない。 <p>〈長文読解について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音や音読に積極的だが、長文読解や内容把握を苦手とする生徒が多い。 <p>〈表現力について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の文型を用いて会話や文章を続けたりしていく力をさらに発展させていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文型に取り組む時間を確保する。Q&Aシートなど、繰り返し学習ができる機会を増やす。 ・定期的に教科書以外の長文に触れる機会を増やし、慣れさせる。解説する時間を確保する。 ・活動の機会を多く設定する。表現力をのばすための工夫の仕方を提示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業中や定期テスト前等に、補充的な学習教室を行う。 ・読むスピードなどにも留意し、内容把握に関するポイント指導を行う。 ・少人数の特徴を生かし、ALTとの協力も含め、個に応じた指導を行っていく。
3 年	<p>〈リスニングについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、まとまった量の英語を聞かせる、また答えを文章で書かせる指導がやや少ない。 <p>〈不定詞について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用法の違いをしっかりと定着・確認する機会がやや少ない。 <p>〈復習や活用について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の復習を統合した問題を出題する時間がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングの量を増やし、聞くポイント（疑問詞やbecause/ and/ but等の句）を指導する。また、記述式解答の種類を多く設定し、指導する。 ・副詞的用法の中でも、Why?に対する答え方としてのTo~.の使い方をしっかりと定着させる。 ・1, 2年生の既習事項を統合し、活用させた問題を出題し取り組む時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながりや変化等の指導を行い、一部のみ空欄のディクテーションを取り組ませることから高度な課題まで出題を工夫する。 ・不定詞に限らず、例外的な使い方については繰り返し定着しているか小テストなどでその都度確認する。 ・それぞれの進度に合わせて1, 2年の復習の定着から総合問題まで放課後補習等で指導を行う。